

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 七尾市立小丸山小学校 ] 担当教諭名 [ 堀田 英里 ] ( 3年2組 31名 )

交流相手国 [ ガーナ ]

海外学校名 [ Brilliant Superstars Primary School ] 担当教諭名 [ Jonathan Baniyire Sambayom ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合	アートマイル	20
	国語	ローマ字	2

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	学校行事と祭り
絵に込めたメッセージ	自分たちの住んでいる七尾のよさをガーナの子どもたちにも知ってもらいたい。自分たちの国のよさ、相手の国のよさをお互いに知って、認め合おう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
日本が世界の中でも裕福であるということ、あたり前だと思っていることがとても幸せなことだということに気づくことができた。	鑑賞に十分時間がとれなかった。 テーマを決める前にもっと情報を交換すればよかった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
地元の新聞に取り上げてもらった。 学年だよりや学校広報で保護者の方にも伝えた。	昨年度も学校で取り組んでいるので、他の学年も「今年は何んな絵をかいたの」と、興味をもって3年生に声をかけてくれることが多かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月 9月	ゲストティーチャーを呼んで話を聞く。 相手の国・相手校を知らせ、アートマイルの活動を説明	とても意欲的で、早く絵をかきたいという様子だった。 自己紹介カードを英語で書いていた。	総合2 国語2
情報収集	10月	ガーナの小学生に知らせたい七尾のよさについて話し合い、グループごとに調べ学習を行う。その後、調べたことをクラスで交流する。	ガーナの子どもたちに伝えるという目的をもって、くわしく調べよう、分かりやすく伝えようと、意欲的に取り組んでいた。	総合5
テーマ検討	11月	具体的な構図を考え、相手校に知らせる	学校のことや祭り、日本の四季など、表現したいことについてクラスで活発に話し合うことができた。	総合5
制作	12月	グループごとに分かれて絵の制作	自分たちで役割分担をして、丁寧に作業をしていた。	総合7
鑑賞	4月	作品を見て気づいたことを話し合う。	1枚の絵が完成したことに喜びや達成感を感じていた。	総合1

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	相手に伝えるために詳しく自分たちの身近な文化について調べて、七尾のよさに気づくことができた。
異文化の理解	B	3	相手国の小学生の写真を見て自分たちとの違いに気づき、相手国についての関心が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	2	時差の関係もあり、テレビ会議が行えず、子ども同士のやりとりができなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	本やインターネットで調べる子もいたが、全体に広めることがあまりできなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	交流相手との人間関係を作ることができなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	学級内で役割分担をして、絵を完成させることができた。
学習を追究する意欲	B	2	最後まで、相手の国のことをもっと知りたいもっと伝えたいという意欲が続いた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	祭りや行事の写真を見たり、本で調べたりしながら、絵に書き表すことができた。
作品を鑑賞する力	A	4	肌のちがいや景色の違いを比べることで、日本とガーナの文化の違いに気づくことができた。